

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-3-26						
事業名：防災拠点施設備蓄品等整備事業						
事業費：総額 27,418 千円 国費 21,935 千円 (内訳：備品購入費 27,418 千円)						
事業期間：令和 2 年度						
事業目的：防災備蓄倉庫の完成に合わせて、災害時に必要となる発電機等の各種資機材を、巨理町防災備蓄計画に基づき整備することで一元的な備蓄及び管理を可能とし、より一層の災害対応力の向上を図る。						
事業地区：巨理町全域						
事業結果：発電機、投光器ほか全 17 種類の災害用備蓄品を整備。 ＜令和 2 年度＞備蓄品購入 27,418 千円						
事業の実績に関する評価						
<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○防災備蓄倉庫に備蓄品を整備することにより、町内の各避難所の初動対応期における運営に必要な備蓄品を効率的な集中管理のもとに常備することができるようになり、災害対応力の向上が図られた。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○巨理町財務規則等に基づき、適正に指名競争入札を実施して業者を決定し実施した。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備品購入</td> <td>令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月</td> <td>令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒ 想定事業期間内で整備を終えており、事業手法として妥当であったと判断する。</p>		想定事業期間	実際の事業期間	備品購入	令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月	令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月
	想定事業期間	実際の事業期間				
備品購入	令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月	令和 2 年 7 月～令和 3 年 2 月				
事業担当部局 巨理町総務課安全推進班 電話番号：0223-34-1111						